

「Jr.NBA 日本チーム」の米国遠征について

1. 当社(本社:東京都港区虎ノ門二丁目、社長:松下功夫)は、National Basketball Association(以下「NBA」)が主催する子供向けの社会貢献プログラム「Jr.NBA」に特別協賛しておりますが、このたび、「Jr. NBA 日本チーム」が渡米し、1月5日(現地時間)にニュージャージー州のネッツ・プラクティスセンターにおいて、「Jr. NBA ニューヨーク オールスターズ(以下「Jr.NBA NYチーム」)」および「Jr. NBA ニュージャージー オールスターズ(以下「Jr.NBA NJチーム」)」と親善試合を行い、1月7日、無事帰国いたしました。
2. 「Jr. NBA 日本チーム」は、昨年8月から9月にかけて実施された選考会等で選ばれた男子中学生12名で構成されています。昨年9月から12月までの間、元WNBA 選手の萩原美樹子氏、元オリンピック選手の大山妙子氏らを中心としたJOMOバスケットボールクリニックのコーチ陣による強化合宿を行い、チームの結束を高めて1月3日(日本時間)に渡米しました。
3. 「Jr. NBA 日本チーム」は、ニューヨークおよびニュージャージー州在住の同年代の選抜選手で構成された「Jr.NBA NYチーム」および「Jr.NBA NJチーム」とそれぞれ試合を行いました。昨年は2試合とも惜敗しましたが、今年は強化合宿による強化が実り、2試合とも大差で勝利しました。試合後、両チームの選手達は、シュートゲームなどを通じて交流を図りました。試合結果は次のとおりです。
 - 第1試合: Jr. NBA 日本チーム 93 対 17 Jr.NBA NYチーム
 - 第2試合: Jr. NBA 日本チーム 98 対 17 Jr.NBA NJチーム
4. 今回のプログラムの一環として、「Jr. NBA 日本チーム」は、1月4日、ニュージャージー・ネッツのホームコート「アイゾッド・センター」にて練習を行いました。この練習には、かつてシカゴ・ブルズやロサンゼルス・レイカーズで活躍した名選手、ロン・ハーバー氏も参加し、日本チームとシュートゲームを行うなど、選手達との交流を楽しみました。
5. 「Jr.NBA」とは、NBAが2001年から社会貢献活動の一環として開催している子供向けの社会貢献プログラムで、バスケットボールを通して子供たちの基礎スキルの向上を図ると同時に、チームワークやスポーツマンシップなどの教育的なサポートも行っています。アメリカでの開催に留まらず、ヨーロッパやアジアなどでも展開される国際的プログラムへと成長を遂げており、日本での開催も今回が2回目です。

以上

● 【参考資料1】「Jr. NBA 日本チーム」の選手一覧等

氏名(ふりがな)	学年(年齢)	身長(cm)	都道府県
浅野 恭平(あさの きょうへい)	中学2年(14才)	171.0	福島県
井島 啓貴(いじま ひろき)	中学2年(14才)	181.0	熊本県
岩田 凌(いわた りょう)	中学1年(13才)	178.5	福井県
大西 ムーア マーカス 太平洋(おおにし・むーあ まーかす・たいへいよう)	中学2年(13才)	173.0	愛知県
岡本 飛竜(おかもと ひりゅう)	中学2年(14才)	159.3	鳥取県
加藤 慧(かとう けい)	中学2年(14才)	167.7	鳥取県
神津 陵平(こうづ りょうへい)	中学2年(14才)	177.4	長野県
清水 久能(しみず ひさよし)	中学2年(14才)	181.6	福井県
甚田 翔也(じんだ しょうや)	中学2年(14才)	166.2	大阪府
正木 僚也(まさき りょうや)	中学2年(14才)	159.0	和歌山県

森 信乃輔(もりしんのすけ)	中学2年(14才)	188.3	静岡県
吉村 大河(よしむら たいが)	中学1年(13才)	164.7	神奈川県

● 【添付資料2】親善試合の様様



▶ 「Jr.NBA日本チーム JOMO CHALLENGE」Webサイト